

# 学校建設（カンボジア）

小中学校9棟24室完成。  
着工分を含め建設実績は349棟に。

2016年度建設支援校リスト

建設 累計	支援学校名	地域	受益者 (生徒数)	受益者 (教員数)	支援内容				机、 椅子	井戸 水タンク	靴箱
					校舎 棟	校舎 室	トイレ 棟	トイレ 室			
327	マナウ小学校	バットアンバン州	395	16	1	4	1	3	204		9
328	コンボンチェン小学校	バットアンバン州	112	3	1	3			75		9
329	ブレイトートン小学校	バットアンバン州	130	6	1	3	1	2	75	1	9
330	ポンオンサオン小学校	トゥボークモム州	129	4	1	3	1	3	75	1	9
331	ソクサン小学校	バットアンバン州	95	5	1	3	1	3	75	1	9
332	コーコック小学校	バットアンバン州	240	9	1	3			75		9
333	タナウ小学校	スワイリエン州	807	18	1	2			100		6
334	ブノムロック小学校	トゥボークモム州	43	1	1	1	1	2	40		3
335	ポー小学校分校	クラチエ州	55	3	1	2	1	2	30	1	6
-	オルッセイ小学校	コンボンチャム州	121	5						1	
-	サマキボンスマイチ小学校	ブレイベン州	241	10			(1)	(4)			
合計(2016年度実績)			2368	80	9	24	6	15	719	5	69
336	コンポート小学校	コンボンチャム州	327	6	1	2			30		6
337	ロヴィアトーン小学校	クラチエ州	104	6	1	2			50		6
338	サムダエック小学校	バットアンバン州	786	11	1	3	1	3	75		9
339	ポー小学校(本校)	クラチエ州	162	9	1	4	1	3	100	1	12

※336以降は2016年度内着工済(年度内未完成)の学校。実績は2017年度に加算されます。  
※タナウ小学校とブノムロック小学校の生徒用机・椅子は、日本から輸送された中古の机・椅子を寄贈しました。(P.7参照)  
※サマキボンスマイチ小学校のトイレ支援は既存トイレの補修工事を実施しました。2016年度の実績には含まれていません。

## 支援概況

今年度は各地の学校や州や郡の教育局から建設要望が届き、前年度の要望書も含めて27校の学校調査を実施しました。その中から、

- ①教室が足りずに運営に支障がある学校(写真A)
- ②校舎の老朽化により授業が天候に左右される、又は倒壊の危険がある学校(写真B)
- ③小学校6年生まで受け入れることができない学校(写真A、B)
- ④公立学校が無い地域に必要とされる学校(写真C)

などの情報を十分協議し、優先度の高い学校から建設を行いました。

本年度はカンボジア4州に、小中学校9棟24室、トイレ6棟15室、給水施設5基を建設しました。

これにより、カンボジア国内での校舎建設数はカンボジア20州で339棟(着工済校舎を含む)、ラオス1棟とネパール9棟を加えた総実績は349棟となりました。

また、今年度は建設後の学校約30校を訪問し、校舎と運営状況の確認を行いました。写真Dは1998年12月に完成したオグラ

トロケアット小学校の授業風景。贈呈式から18年以上経過した今も、JHPの校舎は子どもたちの学びを支えています。

## カンボジアにおける校舎建設の実績

2015~2016年度の教育省統計では、公立の小・中学校、高校の数は合計8,799校となり、前年度よりも44校増加しています。過去24年間にわたり、JHPは270校(全学校の約3%)の支援に携わっています。

## カンボジアの現状を伝える各種コーディネート

プノンペン事務所では、贈呈式、視察、ボランティア活動、交流会など、年間22組250人の支援者を迎え、各種コーディネートを行いました。ボランティア活動は、ブランコ建設(2校)、校舎の壁塗り(1校)、ドア・窓のさび落としとペンキ塗り(1校)を実施しました。ブレイベン州トムノッププロロックトゥマイ小学校では、校舎がきれいな状態で長期的に維持されるように、先生方と協力して補修作業を進めることができました。(写真E)



A 教師の自宅の床下で授業をしていたブノムロック小学校



B 老朽化が進んでいたポー小学校分校



C メコン河近くに新設したポンオンサオン小学校



D オグラトロケアット小学校の授業風景



E 校舎のドアと窓の塗装作業



## プロジェクトの背景

国際機関やNGO等の援助により、カンボジアの状況は改善されつつあるが、都市と遠隔地の経済格差やインフラ(教育環境を含む)の格差は拡大している。小学校の進学率は上昇しているが、不完全校(6年生まで受け入れができない小学校)や教室不足の学校、老朽化が進み危険な校舎を利用している学校は未だに多い。中学校の生徒が増加しているため、教室や教員不足を招いている。生徒が過密な教室で学んでいた、正規の時間数が学べなかったりなどの弊害も出ている。また、幼稚園数と児童数の増加、都市部での私立学校の増加などの傾向が出ている。



A

クロサンクル小学校への文具・図書の継続支援

### 「江東区」及び「江東区海外リサイクル支援協会」との連携で中古机・椅子を輸送

2016年7月、江東区の小・中学校から届いた机・椅子のうち、100セットはスワイリエン州タナウ小学校へ(写真B)、40セットはトゥポークモム州プノムロック小学校に寄贈しました。

尚、海上輸送のコンテナには、江東区をはじめ全国各地から当会に寄せられた楽器等も積み込み、各種支援に備えることができました。

### 学習環境を維持、向上させるための継続支援

カンボジアの各学校は、国からの予算が不足しているため、学用品、図書、備品などの購入代、校舎修理代などを十分に賄えません。

2017年度は、新規建設校と既建設校を合わせて約20校に文房具、図書、学校用備品(時計、世界地図、ゴミ箱)などを寄贈しました。これらは、子どもたちの学習意欲を高め、各学校の運営の維持、向上にも役立てられています。(写真A)



B

日本から寄贈された机・椅子で勉強するタナウ小学校の子どもたち

### 各種インタビュー

JHPは、校舎建設のみならず、子どもたちの学びに欠かせない文具、図書、各種備品などをニーズに合わせて支援しています。寄贈時の写真やインタビューは、ご寄付をくださった各支援者に責任を持って報告しています。



学校名 クロサンクル小学校

名前 ユアレット(男)

年齢 38歳

教師歴 17年

学校規模 生徒120人、教師3人

感想 今回も沢山の学用品をいただきありがとうございました。子どもたちにしっかりと配ります。色紙や辞書等は学校で管理して大切に使用させていただきます。この度のご支援に対して心から感謝を申し上げます。支援者の皆さまのお仕事のご成功とご健康をお祈りいたします。(寄贈風景は上段左の写真参照)



学校名 オグラトロケアット小学校

名前 フット・サムウン(女)

年齢 59歳 教師歴 35年

学校規模 生徒1050人、教師18人

感想 学校は1979年に開校しました。古い木材を探して校舎を作り、トタンで周りを覆いました。最近ではプノンペンから転居してくる世帯が多く、生徒が増えています。

今日は文房具をご支援いただきとてもうれしいです。これからも子どもたちが学ぶために必要なノートやボールペンなどをご支援いただくとありがたいです。



学校名 トゥールアンビル中・高校

名前 パン・ナヴィー

性別 男子 年齢 16歳 学年 中学3年生

学校規模 生徒1527人、教師120人

好きな科目 数学

将来なりたい職業 警察官

感想 図書室が好きなのは、本を読むことで知識が得られるからです。この学校の図書室は過ごしやすく本を読むのに適した環境です。物語が好きで、月に4~5冊読みます。

私たち生徒のために図書をご支援いただきありがとうございます。